

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度	科目名	オーディオ&ビジュアル3	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	音響芸術科	コース名	全専攻	開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	授業内で資料プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	瀧口	実務経験の有無・職種	有・エンジニア		
<b>学習目的</b>					
オーディオ&ビジュアル1、2で学んだことをベースに2年次ではより実践的な内容を学び、コンテンツ制作に必要な知識、テクニックを理解、さらに課題等で表現力を身に付ける。また、現場でもPCベースでの作業が多い現状に対応するためにファイルフォーマット、フォーマット変換、データの取り扱い等を理解することを目的とする。					
<b>到達目標</b>					
音響機器、映像機器の基本原則を理解し作品制作への応用力を身に付ける。音楽業界ではレコーディングスタジオ等、映像業界ではMAスタジオ、ビデオ編集室等のポストプロダクションで新人が求められる知識・技術を身につけることにより就職活動、研修等で使える内容を理解し、実践力のある人材を育成する。また、作品制作をすることにより実践力を身に付けることを目標とする。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	テキストは毎回配布する資料の空欄を授業中に埋めることにより完成する。プロジェクター、音響機器を使用し資料、素材映像等の説明をする。また、配布資料の静止画では分かりづらい物は動画を制作しYouTubeにアップしいつでも確認できるようにしている。授業が一方通行にならないように課題を出し適宜質問等をする。理解度確認のため定期的に小テストを行い解説する。				
注意点	資料は空欄を埋めることにより完成し、卒業後も確認できるようになる。授業中にしっかり書き込み自分用の資料を完成させること。欠席等で資料をもらわなかった時はすぐに資料をもらい、空欄を埋めて資料を完成させること。夏休み課題として作品提出がある。 公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	35%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
<b>授業計画 (1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	デジタル信号	AD変換を理解する。			
2回	サンプルレート	サンプルレートを理解し、サンプルレートの違いによる音質の違いがわかる。			
3回	ビットレート	ビットレートを理解し、ビットレートによるデータ量の計算ができる。			
4回	デジタルオーディオフォーマット	デジタルオーディオフォーマットの種類と特徴がわかる。			
5回	映像作品制作	映像作品制作の流れを理解する。			
6回	画面サイズ、アングル	画面のサイズ、アングルを理解し、用語が使える。			
7回	ロケーション	ロケーション機材、スタッフを理解する。			
8回	レンズと表現1 (焦点距離)	レンズの焦点距離による表現の違いを理解し表現できる。			
9回	レンズと表現2 (被写界深度)	被写界深度による表現の違いを理解し表現できる。			
10回	三分割構図、黄金分割	構図による表現を理解し表現ができる。			
11回	構図	三分割構図、黄金分割構図以外の構図による表現を理解し表現ができる。			
12回	構図による作品の考察	作品を鑑賞し構図による表現がわかる。			
13回	画像データフォーマット	画像データフォーマットの種類、特徴を理解し、目的にあったフォーマットがわかる。			
14回	映像データフォーマット	映像データフォーマットの種類、特徴を理解し、目的にあったフォーマットがわかる。			
15回	コンテナ、コーデック	映像ファイルのコーデックについて理解する。			